



2008年9月25日

株式会社ビューティ花壇

第12期定時株主総会(平成20年6月期) Q&A

ANAインターコンチネンタルホテル東京 地下1階「プリズム」

2008年9月25日開催 午前10時00分～午前10時50分

Q1. 馬場崎常務が欠席ということだが、株主総会は年1回の最も重要な会議であり、出席に向けてすべての問題を解決しておくべきではないか？

A1. 業務上やむを得ない欠席であり、他の取締役、監査役も了承しておりますので、ご了解願いたいと存じます。

Q2. 役員人事の異動がリリースされているが、非常に評価できる。少数で最大の効果を図り、今後の利益拡大に向け強力に推進してほしい。

A2. 貴重なご意見として承ります。

Q3. 貸借対照表について、建設仮勘定が前期と同じ数字である理由、固定化債権の内容を説明してほしい。

A3. 建設仮勘定は次世代ソフトウェアについて社員教育が必要であり、契約を継続したため、前期と同額になっております。また固定化債権は滞留債権の分類を詳細にしたものです。

Q4. 昨年は配当性向が50%を超えており、今年は14%となっているが、会社として配当性向をどのように考えているのか。

A4. 会社としては、最近では連結での業績が重視されているので、配当は連結当期純利益の30%としております。昨年は期初の計画通り、同利益の30%を配当しております。

Q5. 会計監査人選任議案について、上場時は新日本監査法人を使っていたが、今回はトーマツとしている。監査法人を変更した理由は何か。

A5. 変更した理由として、比較検討した結果、トーマツの費用が総合的に鑑みて安かったことが挙げられます。いずれも4大監査法人であり、信用があり、トーマツに変更しても監査については信頼できると考えております。

Q6. 8月26日の株式新聞で、3年後に100億円という売上目標を打ち出したという記事を見た。非常に積極的な目標で評価しているが、このような目標を達成するには社員の一体感は重要だと思う。社員の一体感にも配慮して目標を達成してほしい。

A6. 貴重なご意見として承ります。

Q7. 株価についてはどのように考えているのか。

A7. 株価については様々な要因があり、会社で対応できるものではありませんが、株価が上昇するよう利益の増大に向け邁進する所存です。(その後、中期計画について具体的に説明いたしました。)

Q8. 最近では上場廃止となる会社が増えている。上場廃止にはならないようにしてほしい。

A8. 当社では、法令違反等はございませんし、今のところ上場廃止の心配はございません。

以上

■本件に関するお問い合わせ

株式会社ビューティ花壇

IR・広報部 堀(ほり)・三島(みしま)

TEL: (03) 5776-5850

FAX: (03) 5776-5851

E-mail: ir-info@beauty-kadan.com

Website: <http://www.beauty-kadan.com>